

五 台風の被害甚大

(一) 昭和六三年六月二四・二五日の大雨災害

前日の二三日から降り出した雨は、翌日になっても降り続き、二四日午後八時から九時までの一時間には六八ミリという記録的な集中豪雨となり、このため河川・溝などが氾濫して住家の床上・床下浸水が発生し、また崖崩れによって住家の半壊、土砂崩れなどにより農林土木関係に多大な被害が生じた。二四日午前三時から二五日午

前三時までの二四時間の降水量は一九九・五ミリを記録した。この大雨により消防団四八八人が出動し、応援者を含むとその数は五五人にのぼった。河川・溝などの氾濫防止のため土嚢積み、土砂崩れの除去、床上・床下浸水住家や畑の冠水除去のためのポンプ汲み上げなどの活動を行った。この大雨災害による人的被害は重軽傷六人、被害総額は四億八、七五〇万円に達した。

(二) 平成三年の台風一九号

平成三年九月二七日、長崎県佐世保の南に上陸し山口県西側を通過した大型で非常に強い台風一九号は、宇和島測候所で最大瞬間風速三七・七メートルを記録するなど、各地に深い傷跡を残していった。明浜町では、道路の決壊、水道管の破損による断水、停電の被害のほか、暴風や高潮、波しぶきなどの塩害による柑橘被害が生じた。

柑橘被害は、果実被害が五〇〇万六億八、二九八万五、〇〇〇円、樹体被害が四一四・五万五、三五二万四、〇〇〇円と、被害総額は一二億六五〇万九、〇〇〇円に達した。また、高波を伴う波浪は漁港施設を直撃し、狩浜漁港護岸（フィッシングセンター裏）、高山漁港（東駐車場東小口・宮ノ越物揚場）など一六か所が崩壊、照明灯六か所を含む被害総額は一億六、五〇〇万円に上った。道路では、明浜町の動脈である主要地方道（八幡浜・三瓶・吉田線）が町内九か所にわたって崩壊した。その他、床上浸水七件、床下浸水三七件が発生し、三名が負傷した。

六 野福トンネルの開通（平成四年三月十六日）

明浜町は、リアス式海岸に沿って東西に走る主要地方道（県道八幡浜・三瓶・吉田線）を幹線道路として、各集落間を結びながら国道五六号線と三瓶、八幡浜へつながり、俵津からは県道「宇和・明浜線」で野福峠を通り